

第26回鳥取県図書館大会

ありんこの歩みと仲間の絆

令和3年8月3日(火)

音訳ボランティアグループ「ありんこ」
代表 廣谷 静枝

1 ありんこのはじまり

- 平成10年 10～11月
倉吉市立図書館主催朗読講座開催(4回)
- 平成11年 1月
障がい者サービス充実のため、図書館の働きかけにより
希望する受講者で朗読ボランティア結成。(20名)
《活動内容》
テープ(録音)図書の作成、ありんこだよりの発行及び音
訳、対面朗読など市立図書館から依頼を受けた図書資料
の音訳

2 活動をはじめるとあたり

- 大阪府茨木市立中央図書館、大阪府羽曳野市立図書館視察
- 障がい者サービス学習会
参加者 障がいのある人(視覚障がい者・肢体不自由者)、図書館職員、ありんこ会員
- 朗読の練習
講師 元BSSアナウンサー 目次紀世美さん
- 図書館における障がい者サービスを学ぶ
音訳講師 元鳥取県立図書館長 高多彬臣さん
- 音訳の基本研修
講師 元BSSアナウンサー 浜田妙子さん
- ありんこのPR活動
関係団体へ

3 ありんこだよりはじめての録音

平成11年11月

昼の部 毎週水曜 午前9時30分～正午で都合のつく時間
事務局長宅で録音

夜の部 毎週水曜 午後7時30分～午後9時
倉吉市立図書館の閲覧室

(移転前の図書館:東町)

ポータブルカセットデッキに吹き込み

吹き込む人以外は声を出さないよう、物音を立てないよう息をひそめ…

4 録音機材の劇的变化

平成13年に図書館が倉吉パークスクエアに新築移転。音訳室が新設され、最新の録音機器が整う。



5 ありんこだよりの内容

- 地域の情報、最新の暮らしの情報、おすすめの情報など
ありんこのメンバーが持ち寄り・録音
- 図書の紹介、全国の点字図書館が作成した資料の紹介
図書館職員が選書・録音
- 録音時間 60分
- 形態 カセットテープ、CD

ありんこだより 令和 3 年 6 月号

掲載内容

巻数	タイトル	出典	担当者	各時間	総時間	フレーズ	備考
1	自分の値段も知る	志村流	大津原	3:20			
2	珍獣病院へようこそ(1)	日本海新聞	米増	3:45			
3	Gとの闘い	群ゆき まあまの日記	藤井	3:52			
4	ふしぎな手拭	高知県民話	長尾	3:07			
5	残った物残さず食べなさい	楽しいわが家	米田	3:00			
6	スリッパや帯で簡単に	日本海新聞	谷本	2:53			
7	瀬祭	浜野の物語はし日本語	廣谷	1:40			
8	子犬が来ました	上天岡トモ いっちょとちがひ日	石橋	2:52			
9	夏のお女様さん	美女は 飽きない	棚田	6:15			
10	男の気持ちと女の散髪屋さん	毎日新聞	内村	2:25			
11							
12							
13							
14							



6 ありんこだよりが利用者へ届くまで

編集会議(2カ月に1度開催)



吹き込み作業



ありんこ担当部分と図書館担当部分を結合させる



編集したものを図書館へ



図書館が利用者へ発送



7 これまでの活動

- ありんこだよりの発行
毎月1回
- 音訳図書の製作
図書館から依頼受け作成 これまでに27冊分製作、4冊製作中
他音訳ボランティアとの連携
→新編倉吉市史第3巻（平成26年春～30年春）
- 対面音訳
視覚障がい者中部支部協会との連携
- 全国音訳ボランティアへ加入し情報交換
- リスナーとの交流

7 これまでの活動

研修の継続

- 「デージー編集研修会」
講師 鳥取県ライトハウス 遠藤崇仁さん
- 「音訳指導研修」
講師 元BSSアナウンサー 浜田妙子さん
- 「音訳についての基本の基本」
講師 日本点字図書館(サピエ図書館)びぶりお工房会員
青木雅子さん
- 「著作権法改正と障害者サービスについて」
講師 鳥取県立図書館支援協力課長 小林隆志さん

8 日本海新聞ふるさと大賞2020



令和3年2月20日

永年の活動が評価され、日本海新聞ふるさと大賞2020地域貢献賞を受賞

9 これまで続けることができたのは

- 自分のやることが誰かの力になれば
- ありんこだより利用者さんからの応援・感謝の声
- 生きがい
- 声を出すことが自分の健康にもつながる

そして何よりも・・・

仲間のつながりの深さ！！



10 技術の向上をめざして

- 多岐に渡る課題を克服するため研修の継続
誤読・アクセント等
- 正しい情報を的確に伝える
- 聴いていて楽しくなるありんこだよりの発行

最後に

これからもありんこのように
小さい歩みで
小さな力を合わせ
大きな一歩につなげます

ご清聴ありがとうございました。